

革新懇の三つの共同目標

- ①経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
- ②憲法を生かし、自由と人権、民主主義が発展する日本をめざします。
- ③日米安保条約をなくし、非同盟・中立の平和な日本をめざします。

鳥取県革新懇ニュース

No.82
2023年
5月10日

〒680-0833 鳥取市末広温泉町211誠ビル3階(鳥取県労連気付)
TEL0857-21-3171 FAX0857-21-3172



大軍拡・大増税許さないと訴える参加者ら=5月3日、米子駅前

映画会と宣伝行動(米子市)

5月3日は「憲法記念日」。多くの団体がプラカードや横断幕をもって、駅前イオンの前に三十名が集まりました。

毎年、憲法記念日には、西部地区の団体で憲法学習講演会を行ってきましたが、今年「あらたな戦前にさせない・守ろ

「憲法守ろう！」 県内で多彩な行動

う平和といのちをくらし」のアピールを掲げて行われる全国憲法大集いに連帯して宣伝行動を行いました。

岸田政権がすすめている今日の情勢が、まるで戦前のようにだと言われているなかで、午前中は、あの戦前、治安維持法の下、命を懸けて闘った伊藤千代子の生涯を描いた映画会を観ての行動となりました。

晴れ渡った空の下、井原さんのギター演奏での平和の歌から始まり、各団体から次々と発言が続きました。

憲法会議から岸田政権は敵基地攻撃能力の保有を明記した安保三文書を閣議決定するなど憲法改悪して戦争への道に進もうとしており、すでに美保基地の強化も。沖縄と連帯する会から

も、沖縄でどんどん進められている自衛隊基地など戦争準備が。6月には沖縄国際大学の教授を招いて講演会も予定。農民連からは、いのちを守る食料の安全保障の問題等。新日本婦人の会はなんとしても大軍拡を止めさせ、憲法を活かした暮らし、福祉、教育を守つていこうと。9条の会からは日本国憲法はあの悲惨な戦争の犠牲のうえに生まれ

平和の鳥フェスティバルと連続市民講座(鳥取市)

5月3日憲法記念日に、はと風船を飛ばすイベント「平和の鳥フェスティバル」2023」と憲法を考える「平和と民主主義を考える連続市民講座2023春」が開催されました。

平和の鳥フェスティバルは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、3年連続して少人数による集会を開催してきましたが、今年は、150名の参加者が鳥取駅前風紋広場に集い、平和の象徴である「はと風船」を青空に向けて放つことが出来ました。平和の鳥フェスティバルではお馴染みのゴスペルオーブの皆さんの力強く心にしみる歌声が響きわたりました。



青空に放たれた「はと風船」=5月3日、鳥取駅前風紋広場

午後からは、鳥取医療生協レインボーセンターにて鳥取市9条の会が主催する「平和と民主主義を考える連続市民講座」が開催されました。藤田安一鳥取大学名誉教授による「防衛政策の大転換と「憲法改正」のゆくえ」と題した講演が行われました。

岸田政権による軍事大国化、戦争できる国づくりが着々と進められる中、私たちが何を考え、どう行動すべきなのか理論的に指し示すもので、「変えるべきものは憲法ではなく、軍事大国に向かおうとしている日

- ◆**県弁護士会シンポジウム**◆
5月20日(土)午後1時30分開場、午後2時~4時30分
講師:紀藤 正樹弁護士「日統一教会問題によって明らかになった現代国家の課題」
メイン会場:とりぎん文化会館第1会議室 サテライト会場:米子コンベンションセンター (2会場をWEBで接続して開催します)
有志による直前スタンディングアピール(鳥取駅北口周辺13時~ 米子市文化ホール周辺12時30分~)
- ◆**「沖縄と連帯するととりの会」講演会**◆
6月3日(土)午後2時~ 鳥取市さざんか会館大会議室
6月4日(日)午前10時~ 米子市文化ホールイベントホール
講師:前泊 博盛氏「沖縄の現状と日本の未来」 参加協力券500円

原発推進政策に抗うために

島根原発2号機再稼働 運転差止仮処分申立への支援を!

えねみら・とつとり共同代表 山中幸子

4月27日、GX脱炭素電
源法が衆議院で可決された。
この束ね法案は、GX(グ
リーン)トランスフォーメー
ション)とは名ばかりで、
実際には衰退しつつある原
子力産業を守るための原発
推進法となっている。この
法律の内容は、地元同意の
際、島根・鳥取で開催され
た住民説明会の説明と全く
異なっている。島根原発2

はとても容認できない。
このような原発推進政策
と歩調を合わせるように、
中国電力は、来年1月末ま
でに島根原発2号機の再稼
働を開始するとの予定を公
表している。このまま、現
在継続している裁判の結論
を待っているのは、稼働を止
めることはできない。

そこで、島根県・鳥取県
の4人の申し立て人が、脱
原発弁護団全国連絡会の協
力を得て3月10日に島根原
発2号機の差止仮処分申請
に踏み切った。この裁判で
は短期間で判決が下るため、
勝訴すればすぐに原発を止
めることができる。主な争
点は、①活断層近傍の地震
動を考慮していないこと、
②地震動による危険を軽視
していること、③火山現象
に対する安全の欠如、④立
地不適であること(全国原
発立地で3番目に多い避難
者総人口約45万人)、⑤原
子力災害対策指針の不合理
及び避難計画の実効性欠如、
としている。



島根原発2号機の差止仮処分申し立て行進する参加者=3月10日、松江市

だと思っ
今回の
運転延長
は、安全
についての
新しい
知見があ
たわけて
はなく、
科学的根
拠のない
利用優先
の考え方
から来て
いる。ま
もなく35
年目とな
る島根原
発2号機
を永続的
に稼働さ
せること

雇用と暮らし、平和を守ろう!

第94回メーデー鳥取県集会開催



パレードする集会参加者=5月1日、鳥取市

5月1日、鳥取駅
前風紋広場で第94回
メーデー鳥取県集会
が開催されました。
コロナ感染症によ
り、この3年間、従
来型のメーデー集会
が開催できませんで
したが、今年は4年
ぶりにパレードを含
めた集会となりました。
集会では、実行委
員長の田中暁典労連
議長が、「岸田政権

日本共産党伊藤幾子鳥取
市議が連帯あいさつ、藤田
安一県社保協会会長、松本熙
社民党県連代表、山脇敏正
新社会党県本部委員長、平
井伸治鳥取県知事よりメッ
セージが寄せられました。
集会後、鳥取駅前から旧
鳥取市役所まで「最低賃金
を引き上げよう」「長時間
労働をなくそう」などと唱
和しながらパレードし、市
民にアピールしました。
米子市でも西部実行委員
会が米子文化ホールでメー
デー集会を開催。新婦人と
高教組の代表が決意表明し
ました。

5月3日、「わが青春つ
きるとも 伊藤千代子の生
涯」の上映会を行いました。
昨年、東部で上映会がさ
れてから、「西部ではいつ
すーだー?」「早く観たい
わー」と上映に期待する声
を聞いていました。コロナ
禍でもあり、地方選挙もあ
り、なかなか取り組めず
いたところ、米子革新懇が
この映画の内容から憲法記
念日にふさわしいと、憲法
学習講演会の一環として上
映する運びとなりました。

も掲載していただきました。
米子医療生協の支部や新婦
人は、参加費の補助を行い、
組合員や会員に参加を呼び
かけました。
当日の運営にもたくさん
の方が協力して下さいまし
た。なかでも、昨年、治安
維持法国語同盟の全国女性

「わが青春つきるとも
伊藤千代子の生涯」上映会
多いと思うので多くの人に
知ってもらふ必要があると
思った」と記しています。
40代の女性は「勇気を出し
て権力を闘った女性がいた
ことを知りませんでした。
伊藤千代子さんの強い志が
今の社会につながっている
のだと思いました」と感想

を寄せています。
私は、この上映会によつ
て歴史の真実を知ってもら
うことができると本当に良かつ
たと思います。上映会の準
備から当日の運営に至るま
での一連の取り組みの中で、
革新懇の持つ力にはす
ごいと感じました。21団体
のネットワークが草の根の
活動を持ち寄り、それを糧
にして大きな力になってい
くのを感じました。私にとつ
て大きな収穫です。
上映会に参加されたみな
さん、準備に協力、支えて
くださったみなさんに感謝
です。
治安維持法犠牲者国家
賠償要求同盟西部支部
宅野由利美